

利賀っ子だより



R4. 11. 29

○ ワールドカップカタール2022



【気持ちのよい汗をかいていました】

今、カタールで開催されているサッカーワールドカップが話題になっていますが、利賀っ子もその例外ではありません。28日の朝は、高学年の子供たちがコスタリカ戦のことについて話をしていました。それを聞いていた低学年の子供たちは、日本が負けてしまったことは理解したようで「今度はちゃんと応援しなくちゃ。」と次の試合への意気込みを話していました。

昼休みには、体育館で中学生と小学生が交じってサッカーをしていました。そして、よくみるとそこには、サッカーに長けた小学校教員の姿も!!

校舎が隣接している利賀小中学校ならではの、光景でした。

○ 自分の力で学習を進める子供たち



5年生の子供たちが理科の学習で、ミョウバンを水に溶かす実験をしていました。人数が多い場合は、場所や実験器具の関係でグループで

実験をすることになり、一人一人が自分の手で全ての実験器具を扱う機会がないこともあります。利賀小学校では、全員が自分で実験を進めていくだけのスペースも器具も確保できます。おかげで、確実に実験器具の名前や使い方を知るだけでなく、記録をしながら実験したり、納得のいくまでやり直したりなど、じっくりと観察しながら実験をしていました。

低学年は、生活科でおもちゃ作りをしています。この日は自分のつくったおもちゃを「もっと楽しくする」ことを目当てに活動していました。先生の見本のおもちゃのように紙コップが高く跳ぶようにするにはどうしたらよいかを調べるために見本と比べたり、おもりの大きさや風を受ける部分の大きさが違う何種類ものパラシュートを作って飛ばしたりなど、ここでも自分の力で解決しようとしてつくっては試すことを繰り返しながら嬉々として活動している姿がありました。

(高田 公美)



【これはいいぞ!】



【もっと跳んで!】